

令和5年度 朝日町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(令和4年度分)

令和5年8月

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検及び評価の対象事業	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 令和4年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	6
4. 各種会議、大会、研修会等への参加	6
III. 外部評価委員の意見	9
1. 総括	9
2. 教育委員会の活動について	9
3. 事務事業の点検・評価、今後の事務事業の企画運営にあたって	9
IV. 点検及び評価対象事業一覧	12
V. 事務事業点検・評価調書	13
整理番号 1 ～ 36	

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月1日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、令和4年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の対象事業

令和4年度に実施した朝日町教育委員会所管36事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は100%となっています。また、本年度は第2次朝日町教育振興計画の主要施策に関連する事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

4. 学識経験者の知見の活用

3名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

朝日町教育事務評価委員

氏名	役職名等
真木吉雄	元山形大学大学院教育実践研究科教授
菅井道也	有識者
菅井弓子	有識者

II. 令和4年度 教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

職	氏 名	備 考
教 育 長	堀 俊 一	
委 員	五十嵐 義 一	職務代理者
委 員	井 上 幸 弘	
委 員	橋 間 博 美	
委 員	海 野 睦	

2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和4年 4月26日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 令和4年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 令和4年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 令和4年度朝日町教育研究所運営方針について ⑤ 令和4年朝日町二十歳のつどいについて ⑥ 第66回山形県縦断駅伝競走大会について ⑦ 令和4年度中学生海外派遣事業について ⑧ 令和4年度朝日町小学校陸上記録会について ⑨ 令和4年度朝日中学校2年生職場体験について ⑩ 令和4年度西村山地区中学校駅伝競走大会の結果について
	附議	議第9号 令和4年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第10号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第11号 朝日町立中央公民館運営審議会委員(兼)朝日町立中部公民館 運営審議会委員及び朝日町立西部公民館運営審議会委員並び に朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第12号 朝日町スポーツ推進委員の委嘱について 議第13号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について 3. 令和4年朝日町教育委員会5月定例会の日程について 4. 令和4年度第1回朝日町総合教育会議の日程について
令和4年 5月24日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和4年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について ② 令和4年度教育委員会関係工事等の予定と状況について ③ あさひまち未来の学校検討委員会の進捗状況について ④ 令和4年度「海の子 山の子 交流事業」～海の集い～について
	附議	議第14号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について (令和4年度補正予算)

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
	協議	1. 令和4年朝日町教育委員会6月定例会の日程について
令和4年 5月24日 総合教育会議	協議	1. あさひまち未来の学校検討委員会の進捗状況について 2. 意見交換
令和4年 6月28日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和4年度NRT検査結果について ② 令和4年度西村山中学校総合体育大会の結果について ③ 令和4年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ④ 第25回ひめさゆり俳句大会の実施について ⑤ 町民プールについて ⑥ 朝日町体育協会の名称変更について ⑦ 創遊館建築改修工事について
	協議	1. 令和4年度西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会等について 2. 令和4年度教育委員研修会(山形県市町村教育委員会大会)について 3. 令和4年朝日町教育委員会7月定例会の日程について
令和4年 7月26日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和4年度朝日町教育支援委員会について ② 令和4年度朝日町教育研究所夏季研修について ③ 令和4年度小中学校運動会について
	附議	議第15号 令和5年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 朝日町小中学校のこれからの望ましいあり方について 2. 令和4年朝日町教育委員会8月定例会の日程について
令和4年 8月23日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和4年度東北中学校体育大会の結果について ② 第39回アップル町民駅伝競走大会について
	附議	議第16号 令和4年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価(令和3年度分)について 議第17号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について(令和4年度補正予算)
	協議	1. 今後の学校のあり方について 2. 令和4年朝日町教育委員会9月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和4年 9月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 全国学力・学習状況調査の結果について ② 令和4年度西村山中学校新人総合体育大会の結果について ③ 令和4年度第64回県こども絵画展の入賞・入選について ④ 朝日町青少年健全育成町民大会の実施状況について ⑤ あさひ学びタイトの実施状況について ⑥ 第39回アップル町民駅伝競走大会の参加状況について ⑦ 第58回朝日町芸術文化祭の開催について
	協議	1. 令和5年度実施計画ローリング(R5~7)について 2. 令和4年朝日町教育委員会10月定例会の日程について
令和4年 9月27日 総合教育会議	協議	1. 義務教育学校創設に向けた意見交換 2. 今後の進め方について 3. 意見交換
令和4年 10月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和4年度山形県中学校新人総合体育大会(県南ブロック)成績について ② あさひ国際交流推進フォーラムについて ③ 第39回アップル町民駅伝競走大会の結果について ④ 第58回朝日町芸術文化祭について ⑤ 第68回西村山地区駅伝競走大会について ⑥ 第38回山形県女子駅伝競走大会について
	附議	議第18号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について
	協議	1. 学校の在り方に関する基本方針(案)について 2. 令和4年朝日町教育委員会11月定例会の日程について
令和4年 11月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第25回「ひめさゆり俳句大会」入選結果について ⑤ 令和4年度第2回学校運営協議会について ⑥ 令和4年度県新人体育大会決勝大会成績について ⑦ 第68回西村山地区駅伝競走大会の成績について ⑧ 第38回山形県女子駅伝競走大会の成績について
	附議	議第19号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について(令和4年度補正予算)
	協議	1. 朝日町立義務教育学校(仮称)基本方針(案)について 2. 令和4年朝日町教育委員会12月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和4年 11月22日 総合教育会議	協議	1. 朝日町立義務教育学校（仮称）基本方針について 2. 今後の進め方について
令和4年 12月27日 定例会	附議	
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 令和5年度予算要求概要について ② 朝日町PTA連合会からの要望書への回答について ③ 令和4年度準要保護児童生徒援助費辞退届について ④ 令和4年度朝日町小学校スキー記録会について
令和5年 1月24日 定例会	協議	1. 第2次朝日町教育振興計画の見直しについて 2. 令和5年朝日町教育委員会1月定例会の日程について
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 第35回朝日町生涯学習推進大会について
	附議	議第1号 令和5年度特別支援学級への就学が必要な児童生徒の決定について 議第2号 鈴状土製品の町有形文化財の指定解除について 議第3号 独鈷石・石製剣の町有形文化財の指定解除について
令和5年 2月28日 定例会	協議	1. 第2次朝日町教育振興計画【見直し版】（案）について 2. 令和4年度 子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の決定について 2. 令和5年朝日町教育委員会2月定例会の日程について 3. 令和5年度朝日町教育委員会定例会の年間日程について
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 令和4年度朝日町スポーツ協会表彰受賞者について ② 令和4年度朝日町小学校スキー記録会の結果について
	附議	議第4号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について（令和4年度補正予算） 議第5号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について（令和5年度当初予算） 議第6号 第2次朝日町教育振興計画（見直し版）の決定について
令和5年 2月28日 定例会	協議	1. 朝日町立小中学校の令和4年度卒業式及び令和5年度入学式について 2. 令和5年朝日町教育委員会3月臨時会の日程について 3. 令和5年朝日町教育委員会3月定例会の日程について
	協議	1. 朝日町の教育の推進について（総括と展望） 2. 意見交換

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和5年 3月7日 臨時会	附議	議第7号 令和5年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
令和5年 3月28日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和5年度学級編成について ② 令和5年度区域外就学の許可について ③ 令和5年度中学生等海外派遣事業について
	附議	議第8号 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第9号 令和5年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 令和5年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 令和5年朝日町教育委員会4月定例会の日程について

3. 教育委員学校訪問

年月日	実施校	内容
令和4年6月1日	朝日町立西五百川小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
令和4年6月2日	朝日町立朝日中学校	
令和4年6月24日	朝日町立大谷小学校	
令和4年7月14日	朝日町立宮宿小学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会(20回)」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年月日	会議、大会等名	場所	出席者等
令和4年4月1日	町辞令交付式	創遊館	教育長
令和4年4月1日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
令和4年4月7日	各小中学校入学式	各小中学校	来賓要請なし
令和4年4月4日	学習生活指導員等辞令交付式	創遊館	教育長
令和4年4月29日	朝日町二十歳のつどい	創遊館	
令和4年5月9日	第1回学校運営協議会	創遊館	全員
令和4年5月18日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和4年5月19日	「あさひまち未来の学校」検討委員会④	創遊館	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和4年6月3日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	来賓要請なし
令和4年6月10日	町青少年育成町民会議総会	創遊館	教育長
令和4年6月21日	緑の少年団結団式	秋葉山	教育長
令和4年6月28日	保育園参観（保小中連携事業）	あさひ保育園	全員
令和4年6月30日	「あさひまち未来の学校」検討委員会⑤	創遊館	教育長
令和4年7月7日	西村山市町教育委員会連絡協議会	西川町	全員
令和4年7月29日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
令和4年8月5日	山形県市町村教育委員会大会 【豪雨災害ため中止】	南陽市	
令和4年8月27日	朝日中学校体育祭	朝日中	来賓要請なし
令和4年9月3日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和4年9月3日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	来賓要請なし
令和4年9月10日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	来賓要請なし
令和4年9月22日	町青少年健全育成町民大会	創遊館	全員
令和4年9月23日	あさひ学びタイト	創遊館	全員
令和4年10月9日	第39回アップル駅伝競走大会	町内	全員
令和4年11月10日	保小中連携研修会	創遊館	教育長
令和4年11月2日 ～3日	朝日町芸術文化祭	創遊館	全員
令和4年11月19日	あさひ国際交流推進フォーラム	創遊館	全員
令和4年12月17日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
令和5年1月4日	町辞令交付式	創遊館	教育長
令和5年2月1日	小学校スキー記録会	朝日自然観スキー場	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和5年2月22日	第3回学校運営協議会	創遊館	全員
令和5年2月26日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
令和5年3月14日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
令和5年3月18日	各小学校卒業式	各小学校	全員
令和5年3月31日	町退職者辞令交付式	創遊館	教育長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総括

令和4年度の最大の業績として、「第2次朝日町教育振興計画の見直し」並びに「あさひまち未来の学校の検討」など将来に関わる課題に教育委員会事務局が一体となって取り組まれた結果、いずれも年度内に明確な方向性が示された点があげられる。とりわけ行政主導にならぬよう町民を対象としたアンケート調査を実施するなど、町民各層からの意見を取り入れて進められたことに敬意を表する。

義務教育学校設置基本構想については、町民はじめ町外でも大きな関心事であり、今後、各層対象の説明会を積極的に開催するなど、より多くの町民への周知徹底が図れるよう努めていただきたい。特に学校がなくなる地域の住民については、「学校依存地域社会」から「住民自立社会」への意識の変容が求められてくる。公助依存から脱却するとともに共助を含めた自助による地域づくりへの意識転換を図るべく、教育委員会が主体となって意識的かつ積極的な取り組みを行うことが重要である。

生涯学習関連事業では、人口減少に伴い住みよい町づくりに向けた施策が重要視されてきている。令和4年度はコロナ禍のため中止を余儀なくされた公民館主催の事業もあったが、幅広い年代層に応じた継続性のある多様な事業が企画され、より多くの町民の参加を目指した施策が実施されたことは高く評価したい。生涯学習のあり方は、地域づくりという観点において未来の学校構想にも直結するものであることから、将来的には成人教育にとどまることのない幼児期からの生涯学習体系を構想した施策に拡大することも含めて、主催事業の再検討が求められる。

2. 教育委員会の活動について

総合教育会議を例年より1回多く開催したことにより、朝日町義務教育学校創設に向けて町長部局と教育委員会の意見交換と相互理解がより深まったものと思われる。総合教育会議の開催に当たっては回数を固定化することなく、協議内容によって臨機応変に対応することが重要であり、今回の対応については高く評価するものである。また、学校訪問はもとより生涯学習を含む多くの各種会議等に、教育委員全員が参加するように設定されていることは意義深いものであり、これからも可能な限り実施していただきたい。

3. 事務事業の点検・評価、今後の企画運営について

(1) 全体

これまでの事務事業点検・評価の実績もあり、内部評価の妥当性が見えるようになってきている。反面、前年度とほぼ同様の表記も散見される。特に課題については、新たな改善策を講じた場合の結果や講じられなかった場合の理由についても記載することで具体的な改善策が見えてくるものと思われる。

(2) 学校教育関係

① 教育委員会事務局総務費

義務教育学校の創設に向けて、町民の方はまだまだ義務教育学校とはどのようなものなのか、今までとどう変わるのか分からないのが現状である。町民の方に対して義務教育学校についての学習する機会や説明等、丁寧な対応をしていただきたい。地域のみならず義務教育学校を創ることが一つの刺激となり、地域の活性化につながることに期待したい。

② コミュニティ・スクール事業費

学校運営協議会には校長が委員として参加しているが、個々の教職員は校長を通じた情報でしか掌握できない。学校運営協議会委員と教職員との意見交換の場を、年間一回程度設定することで、より一層の効果が期待される。

各学校に地域学校協働本部が設置され、地域活動推進員の働きが益々大切になっている。今までの継続だけでなく、新しい活動の発掘を心掛けながら対応していただきたい。一人一人の子どもが地域の宝

として生まれた地域の良さを感じながら育ってほしいと思うが、地区民と子どもたちの関わりがほとんどないのが実態である。学校と地域とつながりが持てるような公民館活動の工夫を期待したい。

③ 教育研究所費

一貫教育に伴う保育士の研修機会の設定については、教員との職種の違いや業務内容の相違、働き方改革との関連からも学校と一元的に扱うことが難しい。保育士に対してのみ小中学校の授業参観を求めたのではなく、保育所の業務を教職員に見てもらおうなど、双方の学びが成立する研修体制の設定が望まれる。

学社連携や保小中連携一貫教育は大事であると思う。ただ、学社連携の会議の時間設定が教員の勤務時間外になっていて、時間設定の難しさを感じている。「教職員の働き方改革」の工夫が今一つ必要である。また、GIGA スクール構想で配置されたタブレットの修理・ケア等の今後の計画的な運用の検討をお願いしたい。

④ 小学校教育振興費、中学校教育振興費

小中学校ともに電子黒板数台が追加導入され、多くの授業で活用されているが、わかりやすい授業の構築という視点に立った活用効果の検証を行いながら、より有効な活用につなげていくことが望まれる。

学習生活指導員の配置やICT支援員の派遣などは、子ども達の実態に応じたきめ細やかな教育を心掛けているとともに、教職員の「働き方改革」の推進にも寄与しており、これからも適切な対応をお願いしたい。

特別な支援が必要な児童生徒やその保護者に対して、いろいろな選択肢を提供してほしいと思う。そして、情報が必要な時にはいつでも手に入るように準備するとともに、一般の人の支援教育への理解をなお一層深めてほしい。不登校の子の目的は学級に戻れることではない。社会的自立を果たし、自らの進路を主体的に考えられるように支援していくことが必要である。

⑤ 外国語活動事業費

「英語活動 CAN・DO リスト」が作成後数年を経過しており、内容の再点検や活用成果の検証などを行いながら英語教育のより一層の充実が求められる。

保育園から英語に慣れ親しみ、抵抗感なく学習に入っていける環境があり、体験の場が多く楽しく充実した外国語活動・授業となっている。放課後実施しているきらきらスクールでも、低学年児童が英語でじゃんけんをして遊んでおり、子どもたちの日常生活に外国語活動が溶け込んでいることを感じた。

(3) 生涯学習関係

① 文化財保護費

個人所有の文化財については前年度も同じ課題が提示されており、対応に進展が見えない。所有者との話し合いの進捗状況、町支援拡充に向けた予算面での実行性など具体的な視点に立った事業の方向性を示すことが望まれる。

「朝日町ふるさと文化財制度」を守り育てる項目に、「各学校等」という文言が入り、小さいうちから地域の宝物として意識付けを図っていこうとしていることが分かりとてもいい。各地区の自治公民館活動等と連携して取り組み、地域の教育力が向上していくことを望む。

② 中央公民館事業費、西部公民館事業費、北部公民館事業費

三つの公民館とも年齢や性別に応じた参加しやすい主催事業を企画・実施し、多くの参加者を得ていることは高く評価する。「性別を問わず幅広い年代から参加者が集まる事業の検討が課題」という自己評価が示されており妥当性がある。近い将来、多様性に応じた事業が求められるようになることは容易に想定される。その前に、性別に特化した事業名については、再考する必要がある。

地域民が顔を合わすことが少なくなった今日、気軽に集える場を提供することも大切だと思う。女性とか男性とか区別せず老若男女が参加でき、ゆったりと話ができる取り組みも検討いただきたい。その中から徐々に学び合うことの楽しさを知り自主的な学びの集団ができることを期待したい。

③ つながりで育てる人材育成事業

「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」の参加者が6年ぶりに出たことは朗報といえる。事業の方向性としてこの養成塾だけでない他の事業があるのか、ないとすればどのような対策が考えられるのか早期の検討が望まれる。

④ 保健体育総務費

ミズノとの連携事業は朝日町の特筆すべき事業であり、近隣市町からも関心が寄せられている。今後も継続して推進していただきたい。本事業を中学校部活動の地域移行と連携することも可能ならばより発展的な事業となるなど、さらなる成果が期待される。

部活動の地域移行の準備・対応は、喫緊の課題である。教員と地域の指導者との意思疎通を図り、同じ指導方針で取り組んでほしい。

IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
コミュニティ・スクール事業費	教育文化課学校教育係	3
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	4
教育研究所費	教育文化課学校教育係	5
廃校管理費	教育文化課学校教育係	6
小学校管理費	教育文化課学校教育係	7
中学校管理費	教育文化課学校教育係	8
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	10
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	11
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	12
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	14
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	16
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	17
小学校給食費	教育文化課学校教育係	18
中学校給食費	教育文化課学校教育係	19
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	20
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	21
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	22
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	23
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	24
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	25
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	26
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	27
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	28
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	29
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	30
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	31
つながりで育てる人材育成事業	教育文化課生涯学習係	32
図書館費	教育文化課生涯学習係	33
文化振興費	教育文化課生涯学習係	34
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	35
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	36

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び4人の教育委員 ・定例教育委員会12回開催、臨時会1回開催、附議事件20件 ・総合教育会議4回開催 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会(7/7 西川町) ・山形県市町村教育委員大会【8/5 南陽市 豪雨災害により中止】 ・教育委員視察研修【中止】 ・各校学校等訪問 西小6/1、宮宿小7/14、大谷小6/24、朝日中6/2、あさひ保育園6/28 ・各種事業への参加(教職員辞令交付式・卒業式参加、 【コロナ禍のため参加せず(一部自由参観)】入学式、小体連陸上、小学校運動会、中学校体育祭) ・【予算と決算の差引額が多い理由】 コロナ禍による事業減少や豪雨災害による出張中止などにより旅費や交際費等が残ってしまったため
--

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	1,179,000	決算額	1,010,274	差引額	168,726
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○西村山市町教委連絡協議会研修会では部活動地域移行の現状と課題について情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、「学校の望ましいあり方」や「第2次朝日町教育振興計画(見直し版)」など町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。 ○年度の早い時期に学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。 ○「あさひまち未来の学校」検討委員会からの答申を受け、総合教育会議を4回開催し、未来の学校の課題について共通理解を図り、町として「町立小中学校のあり方に関する基本方針」を策定することができた。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。 ・「町立小中学校のあり方に関する基本方針」に基づき、朝日町義務教育学校創設準備委員会を設置し、基本構想、推進計画を策定していく。

事務事業点検・評価調書

2

1. 事務事業名

事務事業名	教育委員会事務局総務費
-------	-------------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第6次朝日町総合発展計画及び第2次朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開 ・第25回小中学生ひめさゆり俳句大会（347句） ・令和5年度入学児童（27人）を対象に就学時健診（10/5）を実施 内科、眼科、耳鼻科健診、歯科、聴力、視力、知能検査 ・教育支援委員会を3回開催 ・県費教職員健康診断（全員受診） ・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間36日） ・会計年度任用職員（事務補助）を1人配置 ・あさひ英語・数学学習会の実施（計10回） ・第2次朝日町教育振興計画見直し版の策定（2/16 評価委員会開催） ・あさひまち未来の学校検討委員会（5/19、6/30開催） 7/19 あさひまち未来の学校検討委員会より「朝日町小中学校のこれからの望ましいあり方に関する答申書」提出 「あさひまち未来の学校検討委員会だより」の発行（1回） ・【予算と決算の差引額が多い理由】 いじめ防止等対策推進委員報酬や講師報償費・旅費等の残

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	11,050,000	決算額	9,659,058	差引額	1,390,942
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめ問題対策連絡協議会」において、いじめの実態を共有し、学校と関係機関が連携して未然防止に当たった。また、日常的な児童生徒の細やかな観察や定期的なアンケート調査を実施し、未然防止・早期発見・迅速対応を行うことでいじめの解決を図るとともに新たないじめにつながらないように努めた。 ○あさひまち未来の学校検討委員会より提出された答申書を受け、協議検討を進め「朝日町立義務教育学校基本方針」としてまとめることができた。 ○第2次朝日町教育振興計画の中間見直しを行った。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校について、基本方針に掲げた設置に向けて基本構想及び各推進計画等の策定を実施する。 ・第2次朝日町教育振興計画（見直し版）について、第6次朝日町総合発展計画（見直し版）と整合性を図りながら、現状と課題を明確にし、主要な施策の評価などを通じて進行管理を行う。

事務事業点検・評価調書

3

1. 事務事業名

事務事業名	コミュニティ・スクール事業費
-------	----------------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	コミュニティ・スクール運営や家庭・地域・学校における円滑な協働活動ができるように支援する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none">・地域活動推進員（統括コーディネーター1名、西小兼宮小1名、朝日中兼大谷小1名）を配置・各学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会を3回開催。（5/9, 10月中, 2/22）・コミュニティ・スクール先進校視察。【コロナ禍のため中止】・学校運営協議会委員を対象に年1回研修会を開催 2/22 講話 安齋宏之氏

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	3,423,000	決算額	3,089,707	差引額	333,293
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none">○地域活動推進員を配置し、学校と地域が連携できるよう調整を行い、地域学習をスムーズに行うことができた。また教職員の負担軽減にもつながった。○学校運営協議会では毎回熟議を行い、学校の今の課題や育てたい児童生徒像などの情報共有を行っている。また、その内容をコミュニティ・スクール通信を発行し町民へ広く周知することにより、地域と学校の連携・協働の意識の高揚に徐々につながっている。○昨年度すべての小学校に地域学校協働活動本部が設置され、学校運営協議会との両輪を軸としながら学校と地域が連携・協働した一層の教育活動の推進を行うことができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none">・地域学校協働本部の設置、地域活動推進員の継続配置により地域と学校それぞれが良くなるよう連携・協働を強化し、コミュニティ・スクールを推進していく。また、義務教育学校創設を視野に入れながら、町内全てが学区になり「朝日町の子どもを町民みんなで育てる」意識の醸成を図り、スムーズに移行できるよう意図的・計画的に熟議のテーマとしていく。さらに、町民へ周知するため、通信手段等を工夫しながらわかりやすい形で広く発信していく。・地域の先生方が安心して協働活動できるように保険加入を実施する。
--

事務事業点検・評価調書

4

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ板による周知 (2月) ・奨学金貸与申請者の審査会 2件申込、6/10開催2件決定 ・貸与件数6件 R4貸与額 2,880,000円 ・返還件数58件 R4定時返還請求金額 8,408,800円 ・滞納件数14件 3,544,250円 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 現年度未納額 670,500円 滞納繰越額 2,873,750円 ・年度末基金残高 101,436,406円 <ul style="list-style-type: none"> うち 現金 47,077,156円 貸付金 54,359,250円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	51,000	決算額	30,416	差引額	20,584
-----	--------	-----	--------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○滞納については新規の滞納者をださないように、未納の連絡などを強化した。</p> <p>△固定化している滞納者には、戸別訪問等実施したが生活状況が厳しく納付までつながらない。</p> <p>△今後の町の奨学金制度について具体的に検討することができなかった。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。(月賦払い、半年賦払い、年賦払い) ・滞納者には、督促通知及び電話、自宅への訪問等を実施し返還請求を行う。それでも滞納が続く場合には、連帯保証人との話し合いの機会をつくることを検討していく。滞納要因を把握しコロナ禍が原因で滞納になっている場合は猶予なども考慮していく。 ・町の奨学金利用者は減少傾向にあるが、その一因として日本学生支援機構奨学金の制度拡充や教育ローンの低金利などによるものと思われる。町の奨学金の役割やニーズを調査し具体的に検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（地域連携推進 24 人、外国語教育 17 人、ICT 教育 21 人）を 2 回開催 校務研究部会（養護教諭部会 5 人 4 回開催、事務職員部会 5 人 6 回開催） 学力向上委員会 6 人 2 回開催 子育て生徒指導部会 21 人 2 回開催 読書活動推進委員会 13 人 1 回開催 保小中連携推進部会 15 人 6 回開催 教育講演会 町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/28 ・朝日町教育委員会指定研究校 朝日中学校 1 年次 授業研究負担金（助成）100,000 円 ・NRT 検査、知能検査（5 月）、CRT 検査（12 月～1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。 ・教育研究所所報（第 25 号）を発刊（事業の経過を掲載）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,230,000	決算額	1,136,854	差引額	93,146
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値や児童・生徒の実態をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。</p> <p>○学力向上委員会の機能を町教務主任会に置いた。授業改善や指導力向上について毎回話題にし、年 2 回は時間をかけて協議した。各校の取り組みを情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。さらに、授業づくりで大切にしたいことを町全体で共有できるよう「朝日町版授業づくりハンドブック」を作成・配付した。</p> <p>○GIGA スクール構想による ICT 教育の推進のために、令和 3 年度に導入した学習支援ソフト「ミライシード」の操作方法について、全職員を対象に研修会を実施した。新年度から各校の実情に合わせて授業等で活用されている。</p> <p>○「子育て生徒指導部会」では、「『育てよう生きる力』～地域とのかかわりを広げよう～」の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。</p> <p>○授業等における地域活動推進員の活動により、スムーズに地域人材の活用ができ、より良い地域学習につながった。</p> <p>△保小中連携一貫教育の視点から、保育士と教員の合同研修会を年 1 回開催している。小・中学校教員による保育参観だけでなく、保育士の研修機会として小・中学校の授業研究会なども参観できる体制も整え、積極的な参加を促していく。</p>
--

6. 事業の方向性

- 学力向上委員会で各校の学校研究や授業改善等、学力向上対策についての研修・情報交換を行うとともに、令和4年度作成の朝日町版学習指導ハンドブックを活用し、町内小・中学校で探的な学びのプロセスを重視した授業と意識の共有を図る。
- GIGA スクール構想による一人一台端末配置に伴い、ICT 教育に関わる研修を一層充実させる。また、各校における ICT 支援員の活用充実と、家庭学習とつなげるための環境設定やタブレット使用のルールについて一層検討していく。
- 学社連携やいじめ防止対策を担う「子育て生徒指導部会」や保小中連携一貫教育を担う「保小中連携推進部会」は今後も継続していく。
- 教職員の負担が増えないように教育研究所の組織や研修内容等を見直し、教職員の「働き方改革」をさらに推進する。
- 令和10年度開校予定である朝日町立義務教育学校（仮称）に向け、義務教育学校における教育の実際について教職員の研修を深めるようにする。さらに、教育研究所の在り方について今後検討していく。
- 保育士と教員の合同研修会の場に限らず、幼児教育に係る幅広い研修の場について周知したり、「子どもの行為の背景をどうとらえるか」など校種の枠を超えたテーマで話し合う場を設けたりすることで、教員だけでなく保育士の研修機会を一層拡充していくようにする。

事務事業点検・評価調書

6

1. 事務事業名

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・廃校（旧立木小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料 989,044 円、水道料 25,914 円 【現在の使用状況】 旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用 年間を通して、3人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用 旧大沼分校：校舎の一部（主に1階）を、大沼区が大沼公民館として利用 民具の收藏場所として2階の部屋を使用（民具の管理は生涯学習係） ・【予算と決算の差引額が多い理由】電気料高騰に対する補正予算増と雪下ろし等委託料の残
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,407,000	決算額	1,116,158	差引額	290,842
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。
--

6. 事業の方向性

・老朽化もあり、修繕費用を増額するなど使用に支障がないよう適切な維持管理を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため必要な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導 ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検、夜間警備委託、空調設備点検等の実施 ・ 各種修繕の実施 <p>【予算と決算の差引額が多い理由】電気料高騰に対する不足分を補正予算で増額したため。</p>

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	30,113,000	決算額	27,036,289	差引額	3,076,711
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各種点検を実施し、適正な管理ができた。</p> <p>○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等を呼びかけ適切に使用しているが電気料高騰のため補正予算で対応することになった。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。 ・ 児童の安全向上の面から保護者への緊急メール等システムの導入を実施する。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため必要な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導 ・ リフト点検、夜間警備委託、空調設備点検等の実施 ・ 各種修繕の実施 ・ 会計年度任用職員（事務補助）を継続して1人配置
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	14,005,000	決算額	12,682,323	差引額	1,322,677
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各種点検を実施し、適正な管理ができた。</p> <p>○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等を呼びかけ適切に使用しているが電気料高騰のため補正予算で対応することになった。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。 ・ 生徒の安全向上の面から保護者への緊急メール等システムの導入を実施する。
--

事務事業点検・評価調書

9

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医6人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・一般財団法人寒河江市西村山郡医師会総合検診センターへ各種検査(尿、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,434,000	決算額	2,232,699	差引額	201,301
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に健診が終了できた。

6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・学校医4人、薬剤師1人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施 ・一般財団法人寒河江市西村山郡医師会総合検診センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託 ・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施 ・学校保健委員会の開催

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,285,000	決算額	1,218,415	差引額	66,585
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に健診が終了できた。

6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 56人 (26%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 西五百川小 <ul style="list-style-type: none"> スクールバス ポプラ号：能中地区8人、ひめさゆり2号：太郎地区5人、あさひ1号：松程地区4人 スクールタクシー：今平・沼ノ平地区4人 計21人 宮宿小 <ul style="list-style-type: none"> スクールバス（運行委託） 和合線：和合地区17人、上郷線：上郷地区13人（中学生と同乗） スクールタクシー：水本・送橋・古槇地区4人（中学生と同乗） 計34人 大谷小 <ul style="list-style-type: none"> スクールタクシー：大暮山地区1人（中学生と同乗） 計1人 <p>※下校や冬期間について別途計画し運行</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期間の天候や路面の状況によって、四ノ沢地区等の徒歩通学児童も下校時スクールバス等を利用している。 運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。 【予算と決算の差引額が多い理由】 冬期間の安全運行に備えた委託料や車借上料等の残
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,874,000	決算額	8,619,820	差引額	1,254,180
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。 ○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。 ○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。 ○学校等と協議し、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ下車場所を調整している。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・会計年度任用職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区が拡大しているが、利用する児童生徒が安全に登下校できるよう運行方針及び利用基準を検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から通学している生徒 73 人 (53%) 朝日中 スクールバス あさひ1号 : 松程・常盤・ハッ沼地区 9人 ひめさゆり2号 : 立木・太郎・常盤、夏草地区 9人 (冬期間 西船渡4人プラス) 上郷線 (運行委託) : 上郷地区 7人 (小学生と同乗) 和合線 : (和合地区 8人冬期間下校のみ) スクールタクシー : 下芦沢・送橋地区4人 (小学生と同乗) : 大暮山地区2人、栗木沢地区1人 (小学生と同乗) 山交バス 通年: 北部地区29人、冬期間: 登校のみ和合地区8人 ・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。 ・【予算と決算の差引額が多い理由】 冬期間の安全運行に備えた修繕費や燃料費、使用料等の残

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	17,277,000	決算額	15,512,643	差引額	1,764,357
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。 ○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。 ○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。 ○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。 ○学校等と協議し、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ下車場所を調整している。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・会計年度任用職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。 ・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区が拡大しているが、利用する児童生徒が安全に登下校できるよう運行方針及び利用基準を検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

13

1. 事務事業名

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・工事関係 <ul style="list-style-type: none"> 宮宿小屋上防水改修工事 3,080,000 円 大谷小1階教室網戸設置工事 616,000 円 西五百川小防犯カメラ設置工事 429,000 円 宮宿小防犯カメラ設置工事 495,000 円 トイレ多機能化改修工事（職員用全て、各小学校児童用2基ずつ）8,440,000 円の内 （残額 5,140,000 円分 R4 年度事業実施） ・その他、各小学校へ小規模修繕の予算配当
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,746,000	決算額	4,620,000	差引額	126,000
	繰越明許 5,140,000		5,140,000		0

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○一部防犯カメラを導入し、安全面の向上を図ることができた。</p> <p>△西五百川小学校校舎 (S54)、宮宿小学校校舎 (S55)は建築年が古く、各校舎は老朽化が進み改修が必要であり、長寿命化改修には多額の経費が見込まれる。</p> <p>△タブレットやパソコン機器などの故障が増えており、設定環境が複雑で修理の対応に苦慮している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・現在の小学校については安全を確保し、安心して快適な施設となるよう必要に応じ改修等の整備を行っていく。 ・義務教育学校の施設整備については基本構想等での重要項目とし、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。 ・IT関連の整備についても保守も含め計画的に導入更新できるように努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・工事関係 <ul style="list-style-type: none"> 教室改修工事 5,205,200円(令和5年度用) トイレ多機能化改修工事(職員用全て、生徒用3基)2,780,000円の内 (残額1,680,000円分をR4年度事業実施) ・その他、中学校へ小規模修繕の予算配当
--

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	5,300,000	決算額	5,205,200	差引額	94,800
	繰越明許1,680,000		1,680,000		0

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>△校舎、体育館は平成22年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和51年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修が必要であり、長寿命化改修には多額の経費が見込まれる。</p> <p>△屋外部活の部室が目が届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。</p> <p>△タブレットやパソコン機器などの故障が増えており、設定環境が複雑で修理の対応に苦慮している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保し、安心して快適な施設となるよう必要に応じ改修等の整備を行っていく。 ・義務教育学校の施設整備については基本構想等での重要項目とし、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。 ・IT関連の整備について保守も含め計画的に導入更新できるように努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3、児童数213人【21クラス（内特別支援7クラス）】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業を各校の生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、各校 280,000円を上限に補助（西小268,302円、宮小279,716円、大谷小260,000円） ・小体連陸上（5/18） ・海の子山の子交流事業（7/16、10/15 宮城県七ヶ浜町松ヶ浜小、宮宿小） ・芸術鑑賞事業補助484,254円 ・準要保護対象者8人、特別支援教育就学奨励該当者12人 ・学習生活指導員（西小2人・宮小3人・大谷小3人）、読書活動推進員（1人） ・宗生文庫基金による図書購入510,169円、年度末基金残高13,064,121円 ・特別支援学級合同学習会の開催（6/3 白鷹町・長井市 児童生徒・保護者・教職員計39名参加） ・ICT支援員の各小学校派遣、学習支援ソフトの使用 ・備品等購入 電子黒板各校2台ずつ 計2,953,500円（3台コロナ対策）、ACアダプター充電器230台 計1,948,100円 学校保健特別対策事業費補助金によるコロナ対策備品 加湿空気清浄機、非接触式温度計など ・校務支援システム導入3校 計6,484,500円、校務用サーバ増設 346,500円
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	36,388,000	決算額	35,079,638	差引額	1,308,362
	繰越明許 2,700,000		2,699,450		550

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各校とも学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。総合的な学習において、「郷土学習カリキュラム」を活用した身近な素材について学び、朝日町のよさを発信する力が高まっている。</p> <p>○学習生活指導員の継続配置により、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができ、また教職員の負担軽減にもつながっている。</p> <p>○読書活動推進員は各小学校を巡回しながら、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板（追加導入）や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われた。</p> <p>○特別支援学級の合同学習会を開催し、他校児童生徒との交流や保護者や教職員の情報交換ができた。</p> <p>○校務支援システムを導入することができた。</p> <p>△不登校等の児童への対応が課題になっている。</p>
--

6. 事業の方向性

- ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。
- ・少子化による複式学級の設置状況や教職員の負担軽減を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、教職員との打ち合わせを行いながらきめ細かな学習指導を進めていく。
- ・読書活動推進員を継続配置し、発達段階に応じた読書習慣を育成していく。
- ・特別な支援が必要な児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の方向性について、理解と協力を得るために努力していく。さらには保護者、学校、行政が連携を密にし、対応にずれが生じないよう配慮していく。
- ・ICT 支援員等の配置や、校務支援ソフトの運用をすることにより、ICT 学習の向上と教員の負担軽減を図っていく。
- ・不登校の児童が孤立せず、自分の特性を生かしながら社会とのつながりを感じることができるようにするために、居場所づくり及び教育相談員等のよりよい配置等について検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日中学校 生徒数 137 人【8 クラス(内特別支援 3 クラス)】 ・学力向上・特色ある学校づくり事業を生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、上限額の 660,000 円を補助 ・教材備品及び一般備品の購入 電子黒板 1 台ほか 計 1,193,550 円 ・学校保健特別対策事業費補助金によるコロナ対策備品 電子黒板 1 台 492,250 円 その他加湿空気清浄機、非接触式温度計、AC アダプター充電器 150 台 計 1,270,500 円 ・校務支援システム導入 計 2,303,277 円、 ・県大会、東北大会、全国大会派遣 319,986 円 ・部活動補助 527,278 円 ・準要保護対象者 10 人 ・特別支援学級奨励対象者 2 人 ・学習生活指導員 3 人、読書活動推進員 1 人を配置 ・あさひ地域未来塾「夏の陣」「冬の陣」の開催 ・スクールカウンセラー 2 人配置 ・ICT 支援員の派遣、学習支援ソフトの使用 ・不登校児童生徒の居場所としての会場使用料支出 (松本亭)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	18,935,000	決算額	17,731,572	差引額	1,203,428
	繰越明許 900,000		899,050		950

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。総合的な学習において、「郷土学習カリキュラム」を活用した身近な素材について学習し、朝日町のよさを発信する力が高まっている。また、地域の産業や伝統文化を学ぶことにより、これからの自分の生き方を考えるキャリア教育の推進にもつながっている。</p> <p>○特別支援学級も含め学習生活指導員の継続配置により、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動推進員は、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板 (追加導入) や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われた。</p> <p>○校務支援システムを導入することができた。</p> <p>○不登校の生徒や保健室登校・別室登校の生徒が学級に戻れるように支援を行った。</p>
--

6. 事業の方向性

- ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。
- ・学級編成に応じた学習生活指導員を適切に配置していく。
- ・読書活動推進員を継続配置し、発達段階に応じた読書習慣を育成していく。
- ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。
- ・ICT 支援員等の配置や、校務支援ソフトの運用をすることにより、ICT 学習の向上と教員の負担軽減を図っていく。
- ・不登校の児童生徒に対して県のスクールカウンセラー事業を活用して支援し、スムーズな無理のない形での学校生活への復帰を促していく。
- ・不登校の児童が孤立せず、自分のこれからの生き方を思い描き、社会とのつながりを感じることができるようにするために、居場所づくり及び教育相談員等のよりよい配置について検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

3. 事業の実施状況

- 令和2年度から小学校学習指導要領の改訂により、小学校3・4年生で外国語活動、5・6年で外国語が必修となった。令和元年度から、町単独のALTにJET事業のALTを加え2人体制にした。
- ALT1名は国際交流専門員（行政職員）として、アメリカの異文化体験活動を企画実施し、国際交流の進展にも寄与している。平成28年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となって事業を行っている。

【実施事業】

- 国際交流イベント 7/1（小学生15人参加）
- ハロウィン 【コロナ禍のため中止】
- 中学生海外派遣事業 8/14～8/17 朝日中3年生8人 代替 福島県ブリティッシュヒルズ
【コロナ禍のため米国への海外派遣は中止】
アイジー基金を活用した事業 事業費1,186,960円
- あさひ国際交流推進フォーラム 11/19 海外派遣事業の報告
海外派遣事業経験者である先輩からのビデオレター
派遣生とフォーラム参加者との意見交換

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,690,000	決算額	5,573,617	差引額	116,383
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

- ALT1名は国際交流専門員（行政職員）として来日以来19年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。JET派遣のALTと2人体制を取ることで、学校での滞在時間が長く、英語を聞いたり話したりすることが日常化しています。
- 国際交流イベントは派遣生が中心となって計画・運営をし企画・調整力やコミュニケーション力等の育成も図ることができた。
- 中学生海外派遣事業が7回目となり、報告会としてあさひ国際交流推進フォーラムを開催した。派遣生が体験を基にした演劇風の発表にするなど工夫をこらして好評であった。
- 保小中連携一貫教育の推進として、令和元年度に作成した保小中12年間を見通した「英語活動CAN-DOリスト」を活用して英語教育の充実を図っている。あさひ保育園や小学校低学年での英語あそびにより、英語への抵抗感を緩和している。
- 中学生海外派遣事業は福島県ブリティッシュヒルズでの研修になったが、異文化理解と英語によるコミュニケーション能力の育成という目的を達成することができた。

6. 事業の方向性

- ・CAN-DOリストに基づき、英語育成を図る。学習成果の検証を図りながら保育園や小学校低学年から英語に慣れ親しみ、抵抗感なく外国語活動へつながるように改善を行っていく。
- ・国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を継続していく。
- ・町の学校教育の魅力の一つとして、ALT2人体制を継続し、外国語活動や外国語授業の質を向上させていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等 ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 ・給食の食材は保護者負担 1 食 280 円 ・物価高騰対策として食材費の補助 1 食 28 円×150 日分 3 校計 1,150,800 円 ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類 ・献立作成会議を年 10 回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供 ・食物アレルギー対策として、個別に自校給食により対応した給食を提供(除去・代替えによる対応)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,173,000	決算額	11,719,052	差引額	453,948
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。</p> <p>△集中改革プラン(H17～21)で、給食の民間委託の検討を行うことが示されたが、その後の行革実現プランには「給食民間委託」は明文化なし。ただし、町全体として「民間委託の推進」は掲げているので、十分な協議が必要である。</p> <p>○食物アレルギーの児童生徒にも対応した給食を提供している。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・たくましい人材を育てるため、また子育て世帯の経済的負担軽減を目的に学校給食の無償化を実施していく。 ・学校給食の提供にあたり当面は直営で行い、義務教育学校整備基本構想等の中での検討項目としていく。食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、共通認識を持ち安全に提供するため給食に反映させる。 ・調理室の現状について確認していくことで、施設老朽化による不都合が生じないようにする。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・副食給食を委託 12,100,000円(有)地球耕望 ・給食の食材等は保護者負担 1食210円牛乳57円 ・物価高騰対策として食材費の補助 1食21円×150日分 計519,750円 ・食物アレルギー対策として除去による個別に対応した給食を提供
--

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	12,645,000	決算額	12,643,060	差引額	1,940
-----	------------	-----	------------	-----	-------

5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○バランスのとれた副食給食を提供することができた。 ○食物アレルギーの児童生徒にも対応した給食を提供している。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・たくましい人材を育てるため、また子育て世帯の経済的負担軽減を目的に学校給食の無償化を実施していく。 ・これまで副食のみを提供していたが、無償化の支援をさらに充実するためご飯の提供ができるよう整備する。 ・学校給食の提供にあたり当面は業務委託を実施し、義務教育学校整備基本構想の中での検討項目としていく。 ・食物アレルギー対策として、事前に小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するための給食に反映させる。 ・調理室の現状について確認していくことで、施設老朽化による不都合が生じないようにする。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員 7人 (男4人、女3人) ・社会教育委員会の開催 (6/20、3/22) ・社会教育委員会で協議した内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 朝日町社会教育の課題 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性の社会参画、子ども・若者の地域活動参画の在り方 ②社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り ③ 文化財の保護と活用 ④ 社会教育、社会体育施設の老朽化 ⑤町民が主体となった学びの場の確保 (2) 課題に対応するための重点取り組み <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成事業の推進 ② 地域社会による子育て、社会教育の推進 ③ 読書・芸術文化活動の推進 ④ 文化財保護・保存と活用 ⑤ スポーツを通じた地域づくり・健康づくり ⑥町民主体による生涯学習イベントの実施 ・山形県社会教育研究大会 10/21 4人参加 (長井市) (2年ぶりに参集型で実施) ・村山地区社会教育推進協議会研修会 9/28 2人参加 (Zoomによるオンライン形式) ・社会教育機関負担金 (県社教連、県社教大会、山響) ・社会教育団体活動補助金(子ども会育成連絡協議会 176,714円) ・会計年度任用職員賃金、共済費 (創遊館業務員)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,244,000	決算額	3,133,544	差引額	110,456
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会は計画に沿って開催することができた。 ○社会教育委員会は、事業計画及び実施状況について、適正に助言している。時代の変化に合わせて社会教育の課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。 ○町民が互いに学び合う場の確保につなげるイベントを新規に立ち上げることができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町の社会教育に反映させる。 ・社会教育委員会の中で、県等が実施する研修会への参加やテーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。 ・義務教育学校の創設により、地域と学校との関係の変化に対応しながら、地域における社会教育力の向上につなげていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員 5人(5人以内) ・文化財保護委員会 (7/22、3/29) ・文化財保護委員視察研修 (12/13～14) 喜多方市：新宮熊野神社「長床」、会津若松市：鶴ヶ城・福島県立博物館、福島市：福島市民家園 ・指定文化財保護事業費補助金 佐竹家住宅管理費補助 294,000円(差し茅・雪害対策) 水口十一観音堂管理費補助 1,281,000円(差し茅・雪害対策) 大沼の浮島整備補助【国庫補助】 3,048,000円(引水工事第1期工事等) 大沼の浮島整備補助【町単独補助】 253,000円(枯損木伐採及び枯れ枝伐採・石碑修繕) 角田流獅子踊(大谷・八ツ沼)伝承補助 100,000円 浮島稲荷神社管理費補助 132,000円(雪害対策) 若宮寺鐘楼堂彫刻部 363,000円(保全塗装) ・旧三中分校施設管理委託(八ツ沼区) 203,000円(草刈・雪下ろし等) ・文化財等保護調査(ハッチョウトンボ)2回(6/17、7/6) ・町指定有形文化財の指定解除(鈴状土製品、独鈷石・石製剣)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,354,000	決算額	5,891,064	差引額	462,936
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島については、令和3年度に行った測量・設計を基に、道円沢からの引水配管工事に着手し、令和4年度に予定していた工事を実施することができた。</p> <p>△文化財マップや準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」などを活用しながら、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。</p> <p>△区や個人で所有している文化財(特に建造物、個人所有)については、経済的にも高齢化による体力的にも大きな負担となってきており、将来的に維持・保存が難しくなることも想定される。また、世代交替等による所有者の適切な継承がされず、文化財の確認調査等にも影響がでてきている。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・大沼浮島保存整備委員会において、計画実施の経過観察及び評価を行い、適宜見直しながら保存・活用整備を適切に進めていく。また、令和7年度に名勝指定100周年を迎えるので、委員会内で記念式典などの開催可否について検討が必要となってくる。 ・現物の保存が難しいものは、写真やデータなどで文化的価値の保存を図っていく。 ・「朝日町ふるさと文化財制度」について、区長会や公民館連絡協議会、各学校等で周知を図り、地域住民らが協力して地域の宝を守り伝えていく心を醸成する。 ・文化財が将来的にも良好な状態で引き継がれていくために、今後も所有者との維持管理に関する話し合いを重ねていく。更に、町の支援の拡充を検討するとともに、国、県に対して引き続き支援の拡充を求めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町史編さん専門員2人を配置 ・町史及び町史資料頒布（資料集第36集発行） ・文化財保護、民具の利活用等 創遊館ギャラリーにて実施 <ul style="list-style-type: none"> ①「稲刈りの民具と屋根葺き用具」8/31～9/11 ②「冬の民具と最上絵画」2/8～2/21 ・朝日町郷土史研究会 ・ふるさと歴史教室「古文書講座」～古文書から見る暮らし～ 10/19～11/30 計6回（受講者8人/延べ29人）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,670,000	決算額	2,634,868	差引額	35,132
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町史関係資料を収集・解読し、朝日町史編集資料第36集を発行することができた。</p> <p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布や古文書講座の開催は、広く町民に伝えることにつながっている。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p> <p>△町史編さん専門員は、深い専門性と幅広い知識により町史編さん事業を担っているが、今後も継続的に調査・研究を行うために、後進の育成や引継ぎ等を視野に入れた新たな人材の発掘・雇用を検討する。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。 ・古文書講座は、様々な対象者を想定し、講座内容や開催時期・時間など工夫しながら実施していく。 ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査体制を整備する。 ・朝日郷土史研究会や大学等と連携しながら、町史編さん専門員の後継者となる人材の発掘や育成に努めていく。また、専門人材にこだわらず、町の歴史や文化等に興味、関心等を持つ人から関わってもらい、技術を継承しつつ育てていく方法についても検討する。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議（委員 23 人） 総会 6/10 青少年育成町民大会（あさひ教育の日との連携事業）9/22（創遊館） 講演会「現代の子どもたちをどうとらえるか（子ども理解のすすめ）～子どもに本当の学力を育てるために～」 講師 白梅学園大学教授 増田 修治 氏 街頭指導（8/31：風神祭、3/2、3、6：各小中学校前） 青少年育成推進員活動（委員 6 人） 会議（6/5）、青少年事業への活動補助 「わくわく体験事業」 長井市方面【三淵溪谷ボート探検】（8/6）申込者 8 名（小1～4 年生）※豪雨のため中止 山形県青少年健全育成県民大会（長井市） 10/30 1 名参加 村山地区青少年育成連絡協議会推進部会研修会（上山市） 10/2 2 名参加 ・あさひ教育の日推進（R4 から組織体制を青少年育成町民会議に集約し実施） 啓発活動（チラシ全戸配布、ポスター掲示、立て看板設置、クリアファイル配布）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	623,000	決算額	572,960	差引額	50,040
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○時代の変化により非行の減少や問題・課題内容の変化を受け、関連団体における活動内容の整理、統合や連携強化を図るため、「青少年育成町民会議」に活動体制を集約したことに加えて、「あさひ教育の日」の推進についても、青少年の健全育成と一体的に推進することができた。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ、参集型の事業を再開することができ、途切れることなく青少年健全育成事業を行うことができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を推進する機関が見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等による街頭指導を継続して実施していくとともに、あさひ教育の日推進事業など学社連携により、町民一人ひとりが教育に対する関心と理解を深め、地域全体で子どもたちを見守る機運を高めていく。 ・「あさひ教育の日」の推進について、青少年育成町民会議による青少年の健全育成と一体的な推進を図り、効果的な取り組みを進めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 自治公民館整備事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ① 大谷第五区公民館（大規模修繕） 1,983,000円（補助率60%） ② 松程公民館（屋根改修）※雪害対応 1,422,000円（補助率50%） ③ 大谷第四区公民館（バリアフリー化等） 1,042,000円（補助率60%） ④ 宮宿公民館（天井修繕） 395,000円（補助率40%） ⑤ 真中公民館（サッシ・床更新） 242,000円（補助率50%） ⑥ 中沢公民館（屋根塗装） 176,000円（補助率50%） ⑦ 川通公民館（屋根塗装） 131,000円（補助率50%） ⑧ 曲淵公民館（屋根塗装） 82,000円（補助率50%） ⑨ 大谷第七区公民館（屋根塗装） 80,000円（補助率50%） ⑩ 助ノ巻公民館（畳表替え） 66,000円（補助率30%） 事業規模及び交付対象、補助率の概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業規模</th> <th>交付対象</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A改修</td> <td>3,200,000円以上（耐震改修含む限定）</td> <td>60%以内（40戸未満は70%）</td> </tr> <tr> <td>B改修</td> <td>2,000,000円以上</td> <td>50%以内（40戸未満は60%）</td> </tr> <tr> <td>C改修</td> <td>400,000円以上</td> <td>40%以内（40戸未満は50%）</td> </tr> <tr> <td>D改修</td> <td>200,000円以上</td> <td>30%以内（40戸未満は40%）</td> </tr> </tbody> </table> 			事業規模	交付対象	補助率	A改修	3,200,000円以上（耐震改修含む限定）	60%以内（40戸未満は70%）	B改修	2,000,000円以上	50%以内（40戸未満は60%）	C改修	400,000円以上	40%以内（40戸未満は50%）	D改修	200,000円以上	30%以内（40戸未満は40%）
事業規模	交付対象	補助率															
A改修	3,200,000円以上（耐震改修含む限定）	60%以内（40戸未満は70%）															
B改修	2,000,000円以上	50%以内（40戸未満は60%）															
C改修	400,000円以上	40%以内（40戸未満は50%）															
D改修	200,000円以上	30%以内（40戸未満は40%）															
※交付対象についても40戸未満における特例あり																	

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,626,000	決算額	5,618,000	差引額	8,000
-----	-----------	-----	-----------	-----	-------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（平成29年4月1日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。 ○事業規模（交付対象金額）による事前協議の期限と補助率等の不具合について、事業規模の捉え方を整理することにより解消することができた。 ○自然災害等による想定外の改修・整備について協議していたため、緊急的な対応を適切に行うことができた。
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・各地区からの要望をできるだけ早い段階で把握し、支援漏れのないよう制度の周知徹底を図っていく。 ・各自治公民館の新築については、地区との協議のうえ、可能な範囲で同一年度に重複しない調整を検討する。 ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的な支援を行うため、より活用しやすく、地域の問題や課題を把握し、自然災害等の影響により緊急的に支援が必要になった場合なども含め、実情に合わせた運用ができるよう随時制度を見直すとともに、人口減少、少子高齢化、物価高騰等の社会情勢を踏まえて、事業規模や補助基準の見直し、協議申請期間の短縮などについても検討していく。 ・申請書等の様式について、データでの提供方法を検討する。（町ホームページ等で公開するなど）

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課生涯学習係

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会 (6/22、3/28)
- ・家庭教育
 - 中央公民館事業…やまがた子育て講座
(12/14 大谷小 90 人：情報モラル・セキュリティについて、6/15 宮小 20 人：1 年生の心と体を支える親の役割)
 - あさひ家庭教育学級 (あさひ保育園 3 回)
 - ※4 年ぶりに参集型で実施
 - 7/30 講話「共に育つ」講師：前県家庭教育アドバイザー 金澤和子 氏
 - 10/1 「親子スポーツ教室」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ※新型コロナウイルス感染の再拡大傾向にあったことを踏まえ、9 月上旬に園と協議のうえ、中止を決定
→9 月中旬通知により周知
 - 3/4 講話「親子のまん中に絵本を」講師：県家庭教育アドバイザー 渡邊裕子 氏
 - ※「家庭教育通信」を 2 回発行 (4 月・10 月)
- ・青少年教育
 - 中央公民館事業…二十歳のつどい：4/29 参加者 44 人 (対象 61 人) ※民法改正に伴い R4 から名称を変更
ボランティア育成 (中学生…きらり 10 人、高校生以上…JOKER 2 人：町内イベントへの協力等)
 - 中部公民館事業…子ども会育成事業 (第 30 回綱引き大会 3/21 12 チーム 165 人参加)
中部キッズクラブ
(12/10 マーティ&ソフィー クリスマスパティー 参加者 16 人)
- ・女性教育
 - 中央公民館事業…女性文化教室 11 教室 (実申込者数 103 人、延べ申込者数 119 人)
【健康料理教室 (感染対策を講じて 7/20 から再開)】
代表者会 2 回 (4/18、12/6)
女性まつり (第 43 回) 2/26 ステージ発表：おどり教室・大正琴教室
- ・成人教育
 - 中央公民館事業…ふるさと歴史教室「古文書講座」【再掲】10/19～11/30 計 6 回 (受講者 8 人/延べ 29 人)
第 35 回生涯学習推進大会 2/26 参加者：約 300 人
 - ・町スポーツ協会、子ども文化活動表彰式 (町スポーツ協会：10 人、子ども文化活動：16 人)
 - ・学習活動事例発表：女性まつりステージ発表 (おどり教室・大正琴教室) 【再掲】
 - ・記念講演 (トークショー)：長野オリンピック スキージャンプ競技 金メダリスト 船木和喜 氏
 - ・展示：小中学生絵画・書道、文化教室作品、自治公民館報、町立公民館活動の紹介
- ・自治公民館
 - 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修 1/26 (創遊館) 参加者：40 人
 - ・ニュースポーツ体験会 (カローリング・モルック・ダーツ)
 - ・研修会「二井宿わくわくプロジェクト」講師：神保一雄 氏
 - 公民館報発行奨励金交付事業 17 館、自治公民館研修会等共催支援事業 2 館
 - 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 7/29 (創遊館) 参加者：14 人
 - ・研修会「地域の居場所づくりについて」講師：まざれ〜な代表 若月 加代子 氏
 - ※研修会終了後、みんなの居場所「すぽっと」を視察

・高齢者教育

中央公民館事業…高齢者大学代表者会議【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

中部公民館事業…寿大学①10/28(倉遊館)参加者:22人

- ・開校式及び表彰式(R2~R3 顕彰者9名、皆勤賞24名)
 - ・講話「おうちできる健康づくり」講師:健康福祉課 茂木彩英香管理栄養士、小松星奈保健師
- ※11月中旬、会長から感染拡大傾向にあることから第2回以降の開催については、見送る旨の連絡あり。

【予算と決算の差引額が多い理由】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部公民館事業の規模を縮小したため

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	1,254,000	決算額	1,034,264	差引額	219,736
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

- 新型コロナウイルス感染症への対処方法が明確になり、実施方法の工夫や見直しを図りながら対策を講じて事業は実施できた。
- 世代ごとに新型コロナウイルス感染症への認識が違う中、各関係者が事業を再開することを前向きに捉えて、「できるためにどうすれば良いか」を考え、事業に取り組むことができた。

6. 事業の方向性

- ・生涯学習の充実を図るため、幼少期から高齢期まで幅広く町民の学ぶ機会を提供するとともに、町民の声やニーズを生かした老若男女問わず参加できる企画と事業への見直しを図っていく。
- ・子育て世代や、成人男性のニーズに応える学ぶ機会をつくる。
- ・コロナ禍において得た経験を生かし、今後の実施方法に取り入れながら効果的な事業の展開を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (6/13 会議、3/22 会議)
- ・青少年教育…いもがわ少年教室 3回 32人【7/20 キルト教室:5人、12/10 抹茶を楽しむ教室:18人、1/7 スキー教室:9人】
 - …子ども会交流事業 2回 66人【7/2 夏季大会:33人、3/21 冬季大会:33人】
 - …青年教室 0回【コロナ禍のため中止】
- ・女性教育…楽笑楽生こうざ 2回23人【1/15、16 味噌づくり】
- ・成人教育…陶芸教室 2回 14人【7/7:9人、9/8:5人】
 - …筆ペン講座 1回 5人(11/24)
 - …チャリティーグラウンド・ゴルフ大会 10/15 参加者53人
 - …自治公民館長主事研修会 6/12
 - 【コロナ禍のため中止】(5/13 付書面開催の総会で中止を決定、6/1 発行の西部公民館だよりで関係者に周知)
 - …第29回西部地区スポーツフェスティバル 8/28
 - 【コロナ禍のため中止】(5/13 付書面開催の総会で中止を決定、6/1 発行の西部公民館だよりで西部地区民に周知(ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ))
- ・高齢者教育…高齢者教室(高砂大学) 2回20人【10/21:11人、11/16:9人】
- ・第58回朝日町芸術文化祭展示発表会 11月2、3日【143人】
- ・「西部公民館だより」発行 4回(5/1、6/1、9/16、1/1)
- ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当
- 【予算と決算の差引額が多い理由】
コロナ禍により事業を中止したため

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	453,000	決算額	260,248	差引額	192,752
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価(成果と課題)

- コロナ禍の中であったが、前年度と比較して感染防止対策を講じたうえで実施できた。
- 楽笑楽生こうざは、参加者から好評を得ている味噌づくりを感染対策を講じた上で実施し、人生を豊かにするための学びの機会を提供できた。
- △西部地区スポーツフェスティバルは、西部地区自治公民館連絡協議会が主催し、各地区から大勢が参加する事業であり、スポーツとレクリエーションをとおして、地域の活性化と相互の親睦を深める機会となっているが、コロナ禍のため3年連続で中止となった。
- 高齢者教室(高砂大学)は参加者から好評を得ており、コロナ禍の中でも感染対策を講じて実施した。
- △町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。

6. 事業の方向性

- ・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。
- ・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。
- ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、各自治公民館と他の地区との交流を促進する機会となっており、継続開催していく。
- ・コロナ禍において得た経験を生かし、今後の実施方法に取り入れながら効果的な事業の展開を図っていく。
- ・女性教室等、性別を限定している事業については、性別を問わず参加してもらえるよう再検討を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課北部公民館

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会 (6/14、3/15 開催) ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員6人 達人倶楽部15人 延べ隊員25人、延べ達人倶楽部44人参加 (流しそうめん、ハイキング、そば打ち等5回)【夏キャンプ、冬キャンプはコロナ禍のため中止】 …子ども会育成協議会事業7/3「交通安全教室」11/27「ソーセージ作り」実施。 ・高齢者教育…睦大学【コロナ禍のため中止】(9/21に運営委員会を開催し中止を決定) ・成人教育…自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会 1回 28人 …第16回北部地区レクリエーション大会 9/10(グラウンド・ゴルフ) 138人 …そば打ち教室【コロナ禍のため中止】 …肩こり・腰痛改善体操 3回 12人 延べ25人 …クリスマスハーフツリーをつくってみよう 1回 8人 ・女性教室…蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1回 10人 ・第58回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表 200人 ・秋葉山交遊館ロビー開放(冬季)…1/10～3/14の火曜日 計10日間 4人 (※常にロビーは開放しているが、この期間は暖房をつけて開放) ・その他、共催事業等…ひまわりサロン(高齢者等の交流居場所づくり)活動支援 …交遊たのしい子ども教室(生け花体験等)共催 …秋葉山さくら回廊等整備作業(6/12、7/3)、秋葉山整備活用計画の意見交換(10月北部地区区長会にて実施) (農林振興課にて、秋葉山の倒木処理、下刈りを実施) ・「北部公民館だより」発行 4回(4/15、9/16、11/1、12/28) ・北部地区区長会や子ども会育成協議会など5団体の関係団体事務局担当
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	223,000	決算額	181,496	差引額	41,504
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小学校より好評を得ている。また、地域の大人達が組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組となっている。コロナ禍のため、やむを得ず中止となった活動もあったが、感染防止対策をとりながら実施した。</p> <p>△高齢者の事業として「睦大学」を行っているが、コロナ禍のため中止となった。</p> <p>○北部地区レクリエーション大会は北部地区自治公民館連絡協議会が主催し、北部地区民が一堂に集い、レクリエーションを通じて健康な身体の維持促進を図り、笑顔が絶えない活力ある地域づくりを目指す機会となっているが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策をとりながら種目をグラウンド・ゴルフにしぼり実施した。</p> <p>△性別を問わず幅広い年代から参加者が集まる事業の検討が課題である。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容を見直ししながら、さらに青年層及び世代間交流の事業を充実し、参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。 ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。 ・成年層の事業を各種行いながら、60代の学びと社会参加の場の確保にもつなげていく。 ・コロナ禍において得た経験を生かし、今後の実施方法に取り入れながら効果的な事業の展開を図っていく。 ・女性教室等、性別を限定している事業については、性別を問わず参加してもらえるよう再検討を行う。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館（平成12年5月完成） ・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理、清掃業務、エレベーター点検、空調設備、ピアノ保守管理、ホール管理、自動ドア、警備保障、舞台装置、特殊建築物定期報告、環境衛生・貯水槽清掃 ・修繕、工事 経常的な施設・設備・機械器具等の軽微な修繕 1,560,355 円 建築改修工事 175,780,000 円 舞台装置改修工事 12,300,000 円（前金払）【R4～R5 債務負担行為】 建築改修工事監理業務 6,380,000 円 ・芝生広場の芝刈りや除草等維持管理（随時） ・創遊館の貸出 R4年度 利用件数2,192件 利用人数18,583人（町民1人当たりの利用回数3.02回）（6,154人） R3年度 利用件数1,777件 利用人数15,378人（町民1人当たりの利用回数2.44回）（6,296人） R2年度 利用件数1,051件 利用人数9,594人（町民1人当たりの利用回数1.48回）（6,476人） ※町民1人当たりの利用回数＝利用人数／年度末日現在の人口（他も同様）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	221,921,000	決算額	220,704,658	差引額	1,216,342
-----	-------------	-----	-------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○経年劣化により創遊館施設の各所に故障や傷みが出てきているため、特に著しい劣化が見られるものや緊急性の高いものから改修している。</p> <p>○中長期修繕計画に基づき、空調設備及び電気設備、建築改修など大規模修繕工事を終えることができた。</p>

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に劣化診断結果をもとに策定した中長期修繕計画に沿って、今後も計画的な施設修繕を行っていく。 ・令和4年度の建築改修工事等をもって大規模改修は一区切りとなるが、さらに約20年後の大規模改修に向けた中長期修繕計画の見直しを検討していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）の4施設の管理 ・屋内施設：随時の清掃、維持 ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンド・ゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。 ・年間利用者：R4年度 西部公民館 1,275人、健康増進センター 1,812人、西部地区総合運動場 610人、熊ノ山農村公園 4,303人、計 8,000人 (町民1人当たりの利用回数1.29回) (6,154人) R3年度 西部公民館 676人、健康増進センター 1,182人、西部地区総合運動場 448人、熊ノ山農村公園 3,438人、計 5,744人 (町民1人当たりの利用回数0.91回) (6,296人) R2年度 西部公民館 424人、健康増進センター 2,016人、西部地区総合運動場 815人、熊ノ山農村公園 3,963人、計 7,218人 (町民1人当たりの利用回数1.1回) (6,476人) ・健康増進センタートイレ洋式化改修工事 3,047,000円 男子 和式→洋式へ1器、ウオシュレットへ1器 女子 和式→洋式へ3器、ウオシュレットへ1器 ・健康増進センター修繕工事 3,245,000円 (健康増進室壁、天井、排煙窓の修繕)
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,939,000	決算額	10,870,635	差引額	68,365
-----	------------	-----	------------	-----	--------

5. 事業の評価（成果と課題）

○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。
△施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。

6. 事業の方向性

・西部公民館と健康増進センターについては、令和3年3月に策定した公共施設個別施設計画に基づき、計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。その他の施設については、施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉山交遊館、芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成） ・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備委託等（328,760円） ・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理 一部、シルバー人材センター等に委託（288,925円）。 ・年間利用者：R4年度 秋葉山交遊館 3,192人、ときめき体験館 40人、多目的広場 1,609人、北部体育館 981人、秋葉山グラウンド 2,756人、計 8,578人 （町民1人当たりの利用回数1.39回）（6,154人） R3年度 秋葉山交遊館 2,722人、ときめき体験館 62人、多目的広場 1,338人、北部体育館 838人、秋葉山グラウンド 2,941人、計 7,901人 （町民1人当たりの利用回数1.25回）（6,296人） R2年度 秋葉山交遊館 1,375人、ときめき体験館 55人、多目的広場 566人、北部体育館 1,163人、秋葉山グラウンド 599人、計 3,758人 （町民1人当たりの利用回数0.58回）（6,476人） ・北部体育館トイレ洋式化改修工事 1,771,000円 ・秋葉山グラウンドトイレ改修工事 2,354,000円 ・秋葉山交遊館屋根塗装工事 4,565,000円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,914,000	決算額	12,222,837	差引額	691,163
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。 ○遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子ども達が利用している。特に令和4年度に更新した遊具は、平日の夕方や土日に多くの子ども達や家族連れの方々に利用されている。 ○多目的広場では、地区民のグラウンド・ゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。 ○秋葉山グラウンドのトイレの洋式化等改修工事を実施したが、利用者から利用しやすくなったと好評を得ている。 △秋葉山交遊館は施設完成から27年が過ぎ、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・北部公民館、ときめき体験館、北部体育館については、令和3年3月に策定した公共施設個別施設計画に基づき、計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。その他の施設についても随時、施設点検を行うとともに、施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから計画的に修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持していく。

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・放課後子ども教室推進事業の実施
コーディネーター2人配置

	サポーター数	開設数		延べ利用者数
		平日	土日	
きらきらスクール (宮小)	18人	77日	1日	1,322人
のびのびスクール (西小)	15人	117日	3日	4,329人
どきどきスクール (大谷小)	14人	132日	5日	688人

・きらきらスクール (宮小)
※遊びを通した基礎体力の向上を図るとともに、まとまりある下校集団を形成するために利用を推奨

・のびのびスクール (西小)
※少子化・防犯上の観点から、一斉下校を実施しており、原則的に全児童が利用

・どきどきスクール (大谷小)
※少子化・防犯上の観点から、徒歩通学距離が長く、少人数地区の低学年は、高学年とともに下校するため、高学年を待つ必要がある児童は原則的に利用

【予算と決算の差引額が多い理由】
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた期間もあり、開催日数が見込みより減少したため

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,266,000	決算額	1,069,985	差引額	196,015
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

○町内各小学校で年間を通して開設。学校との連絡調整を密にした運営体制が構築されており、サポーターによる放課後の安全な居場所が確保できている。

○お知らせ板等を活用してサポーターの募集を行い、新規サポーターの確保につなげることができた。

△サポーター数が減少している中、放課後子ども教室の需要 (開設回数) が増えている小学校では、一人当たりの負担が増えている。

6. 事業の方向性

・サポーターの確保に向けて、引き続き募集案内等を強化するとともに、サポーター同士のつながりを強化していく。また、地域学校協働本部の会議等においてもサポーター不足を発信し、協力をお願いしていく。

・各校へのコーディネーターの配置とサポーターの増員により、負担感が少ない運営体制を目指していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	つながりで育てる人材育成事業
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<p>「New アクション事業」の実施 応募団体3団体</p> <p>【チャレンジ創造資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末吉良ボーイズ 代表 齋藤 隆氏 (15人) 3年度目 補助金400,000円 子どもの遊び場作りを通じて、若者たちの交流の場を創出する(外遊びイベント、拠点整備 など) ・のぼり花火大会実行委員会 代表 登坂 尚高氏 (13人) 2年度目 補助金400,000円 花火大会を通じて、コロナ禍の中、町民に活力を与えたい(花火大会【オンライン配信】) ・竜馬が学校にやって来た!実行委員会 代表 樋口 義一氏 (10人) 初年度目 補助金391,000円 プロの音楽家による生演奏や講演会を通して、子どもたちに将来の夢や未来の展望を考えるきっかけを提供する <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集及び派遣 7/26~8/8 (14日間) 1名受講 参加費補助 補助金170,000円</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	1,370,000	決算額	1,361,000	差引額	9,000
-----	-----------	-----	-----------	-----	-------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>○本事業は、3年まで継続事業についての支援としており、3年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付け加えてさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、人材育成という本来の目的を重視するとともに、一步踏み出すきっかけづくりとなる事業として実施していく必要がある。</p> <p>○新規1件の相談をうけ、団体の設立(立上げ)や実際の取組みにつなげることができた。また、活動内容を紹介する動画を作成、提供してもらい事業の周知とともに新規団体の確保に向けたPRにつなげられた。</p> <p>○「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」は、6年ぶりに参加者がおり、周知した案内を見て興味を持ち参加を決意したとのことだったので、継続的な周知を図っていきたい。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・New アクション事業を通して、新たな取り組みにチャレンジしようとする町民が、実際の活動につなげられるよう支援していくとともに、補助事業後も継続して活動できるような支援も検討していく。 ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、動画等を活用した呼びかけや効果的なPRを継続して行うとともに、活動の様子などを定期的に発信できる仕組みを検討していく。 ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生を対象とした事業に派遣するとともに、その活動結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館管理運営 会計年度任用職員4人配置 ・利用登録者 4,615人、うち町外611人 (R3 登録者4,560人 うち町外600人) ・1日平均貸出 約45冊 (R3 48冊)、1日平均利用者数 約14人 (R3 15人) ・図書資料収集・蔵書数 453,690冊/R4末 (44,626冊/R3末) ・蔵書点検 11/15～20 ・移動図書事業 5月～3月 (8月は除く) 大谷小 18回 (月2回) ・団体貸出 3団体 りんごっこクラブ (年9回・500冊)、あさひ保育園 (年11回・222冊)、朝日中学校 (年8回・175冊) ※特別支援学級対応 ・ブックスタート事業 (年6回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ ・おはなし会事業 5月～3月 (毎月第2土曜、12月・1月除く) ※おはなし会「ぶなの実」と共催 ・12/10 (土) クリスマス子どものつどい 参加者49名 (大人18名、子ども31名) ・12/10 (土)～18 (日) 古本プレゼント プレゼント人数65名 (町内63名、町外2名) 冊数249冊 ・12/3 (土) 夜の図書館「～ともに生きる そばに在る～」 (計21名) ・ブックテーマコーナー開設 (毎月) 月毎にテーマを設定し本の紹介 ・子育て支援コーナー設置 (図書冊数200冊、貸出冊数260冊)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,825,000	決算額	7,609,560	差引額	215,440
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、コロナ禍以前のような形式でおはなし会や図書館まつりなどの行事を開催し、多くの方に本に親しんでもらうことができた。 ○幼児期から本に親しんでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を継続して実施することができた。 ○移動図書事業については、引き続き低学年と高学年に分けて実施したことで、より子どもたちの図書に親しむ機会の充実に寄与することができた。 ○図書館利用の促進に向けて、利用者等を対象としたアンケートを実施し、選本等を実施した結果、興味・関心を示す利用者が増加した。

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館等との連携強化や各種研修会への参加による職員の資質向上を図り、多様な町民ニーズへ対応していく。 ・読書活動推進員と情報交換を行うことにより、子どもたちの適齢期に応じたニーズを把握しながら、選本の参考にしたがり、より本に親しめる場づくりについて工夫を凝らしたりすることで、図書館の更なる利用促進につなげていく。 ・アンケートを継続的に実施し、選本や利用方法等に関する情報の収集を行い、利便性の向上につなげていく。 ・町立図書館ならではの特色として、町にゆかりのある作者等の著書の積極的な収集に努めていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化祭 <ul style="list-style-type: none"> 町芸術文化協議会支援 (25 団体、1 個人) 11/2～3 第 58 回芸術文化祭 各公民館での全館展示 (10 団体、各地区愛好会、保育園児、小・中学生の展示) ステージ発表：7 団体 (芸文協以外の団体：6 団体) 移動発表会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ※9/7 常任理事会及び理事会で協議し中止決定 (自治公民館における感染対策が困難であることと、高齢者の参加者が多いことが見込まれるため) ・「美の探訪」【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】 <ul style="list-style-type: none"> ※9/7 常任理事会で協議し中止決定→9/7 各理事に通知し、会員周知 ・文化活動等お試し体験会「あさひ学びタイト」 9/23 創遊館【参加者：約 50 人】 <ul style="list-style-type: none"> ①文化体験サテライト (8 ブース設置) ②大人向け講座 (オンライン) 講師：片山しをり 氏「スマホで取りたい！子ども写真ワンポイント教室」 ③子ども向け講座 講師：末吉良ボーイズ (齋藤 隆 氏、鈴木 淳 氏)「クラフトグライダー作り&フライトマッチ」 ・創遊館展示 (ギャラリー・フォーラム) <ul style="list-style-type: none"> ①夢の桜街道ギャラリー展 (4/4～15)、②山の日展示リレー (6/17～24)、③佐藤満染絵展【ろうけつ染め】(7/12～23)、④最上三十三観音御開帳スケッチ原画展 (8/2～27)、⑤茅葺屋根作業に使用する民具展 (8/31～9/11)、⑥県立楯岡特別支援学校作品展 (10/6～19)、⑦第 58 回町芸術文化祭展示等 (11/2～13)、⑧桃色ウサヒの自由研究展示 (1/5～2/5)、⑨冬季の民具と最上絵図 (2/8～21)、⑩生涯学習推進大会展示 (2/26～3/5)、⑪パッチワークの会作品展 (3/6～19) ・ホール事業 <ul style="list-style-type: none"> 7/7 「中学生のためのオペラコンサート」(委託先：今井倭子オペラ活動実行委員会) <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 部「～今井倭子と共に～『オペラコンサート』」 ・第 2 部「オペラ『コシ・ファントゥッテ』」※抜粋上演 参加者：朝日町立朝日中学校全生徒 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、町民の参加は無し ・中央公民館 <ul style="list-style-type: none"> 「文化講座」 10 講座 参加者 93 人 (7/24、8/6、9/8、11/24、11/26、12/4、12/9、12/18、1/15・16、1/19) 「親子講座」 1 講座 参加親子 6 組 15 人 (7/23)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,886,000	決算額	1,851,624	差引額	34,376
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、芸術文化祭を再開し、発表する場があることが各団体等のやりがいにつながっている。 ○町芸術文化協議会加盟団体を構成している会員の減少や高齢化が進んでいるため、会員募集リーフレットを作成し、全戸配布を行い、活動内容の周知を図ることができた。 ○町民同士が学びを深める場の確保・きっかけづくりを目的として、新たに幅広い世代が気軽に文化活動を体験するマルチ形式のイベントを実施し、参加者や会員同士の交流等を深めることができた。 △切れ目ないギャラリーの活用は出来ていないが、少しずつ展示 (相談) 回数は増えてきている。

6. 事業の方向性

- より魅力ある「文化講座」となるよう、アンケート調査等によりニーズを把握し、幅広い世代が参加しやすい講座を企画していく。また、講座内容を動画等にまとめてPRする方法等について検討していく。
- 芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考えるとともに、活動内容などに関する積極的な情報発信や体験する場の提供を検討していく。
- ギャラリーの活用については、常時展示会等を開催できるよう、引き続き情報収集を強化していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

- ・スポーツ推進委員の設置（委員 8 人）
- ・町スポーツ協会主催の各種大会への支援（R4 実施競技：剣道、柔道、野球、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、ソフトボール、バドミントン）
（スポーツ協会加盟団体 13 団体、会員数 460 人）
※R4. 6. 1 付で朝日町スポーツ協会へ改称（上部団体である国及び県もスポーツ協会へ改称していることに伴うもの）
- ・第 39 回アップル町民駅伝競走大会（11 区間 25. 0km）※4 年ぶりに開催
10/8 開催 4 チーム参加（優勝：大谷風チーム）
※7/28 実行委員会でコロナ禍以前の形式では、少子高齢化等の影響により負担が多いとの意見があり→大会終了後、12/8 今後の在り方について検討会で協議→1/20 実行委員会でチーム編成やコース見直し等について提示し概ね了承
- ・県縦断駅伝（4/27～29）、西村山地区駅伝（11/13）への支援
- ・ミズノ連携事業
ジュニアマラソンクラブ及び町スポ少合同コンディショニング教室（8/27、3/4）
小学校走り方教室（4/20）、泳ぎ方教室（7/8）、中学校コンディショニング教室（2/28）の開催
- ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付（個人 10 件、団体 3 件）255, 000 円
- ・町スポーツ協会への各種スポーツ大会の運営支援 補助金 738, 000 円
- ・総合型地域スポーツクラブ運営支援（5 教室（7 コース）58 人、ジュニアマラソンクラブ 13 人）補助金 1, 660, 000 円
- ・スポーツ少年団の育成、支援（8 団体 団員数 107 人）補助金 300, 000 円
- ・小学校スキー記録会（2/1）
参加者：町内小学校 5・6 年生 72 人
- ・休日の中学校部活動の地域移行に係る意見交換会
①10/20 参加者：スポーツ協会長・副会長、スポーツ推進委員会長、スポーツ少年団本部長・指導者協議会長、朝日中学校長
内容：概要説明、朝日中学校部活動の現状説明、意見交換会
②12/19 参加者：スポーツ少年団指導者協議会（各スポーツ少年団指導者）
内容：概要説明、休日部活動の活動母体となることの可否等について意見交換

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	6, 607, 000	決算額	6, 134, 396	差引額	472, 604
-----	-------------	-----	-------------	-----	----------

5. 事業の評価（成果と課題）

- 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じつつ、スポーツ協会主催の各種大会、スポーツ少年団活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援とともに、スポーツ活動に向けた支援を行い、概ねスポーツに取り組める機会を提供することができた。
- 各種スポーツ団体や大会の運営、全国大会出場者に対する支援や、世界で活躍したアスリートと講演会等を通して、町民のスポーツ振興に努めることができた。
- 各地域等の協力を得て、4 年ぶりにアップル町民駅伝競走大会を実施することができた。
- △町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。
- △部活動の地域移行の準備・対応について、町単独での解決は非常に困難になることが想定されるため、近隣市町を含め多方面からの情報収集に努めていく。

6. 事業の方向性

- 各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。
- 「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、教育委員会においても、小中学校における実技教室の開催やジュニアマラソンクラブに対する講師派遣を継続するとともに、今後もニーズに応じた事業が展開できるよう連携を強化していく。
- 部活動の地域移行について、一部を先行して実施するのではなく、全体的な体制等の方向性を定めた上で検討していく。また、近隣市町等との連携を図り、広域的な取り組みとして検討を行い、子どもたちの選択肢を狭めることがないよう、多様な活動を選択できるような体制等を整備する。
- アップル町民駅伝競走大会の開催方法について、人口減少や少子高齢化など、昨今の社会情勢を踏まえて、内容を見直していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館の管理委託 2,244,484 円、清掃業務 69,600 円 一般利用人数：R4 4,294 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.66 回）団体利用等の減少による R3 4,778 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.74 回）複数回・長期間の利用制限での使用なし R2 4,834 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.75 回）中体連等の強化練習での使用なし ・緑が丘公園町民プール【7/16～8/21（営業日数 32 日）※7/19～22 休止】 管理監視業務 5,863,000 円、ろ過機保守点検 33,000 円 利用数：1,220 人（中学生以下 851 人、高校生以上 369 人） ※R3：1,134 人 （町民 1 人当たりの利用回数 R4：0.19 回、R3：0.18 回、R2：0 回、R1：0.30 回、H30：0.34 回） ・夜間照明（管理業務委嘱）6,960 円 中学校及び朝日町野球連盟、ジュニアマラソンクラブで使用 ・町民体育館男子・女子洗面所水栓自動化工事 473,000 円 男女洗面所：各 4 基ずつ ・レクリエーションスポーツ用品購入 1,000,000 円 カローリング 2 セット、モルック 10 セット、ダーツ 5 セット
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	15,112,000	決算額	14,236,910	差引額	875,090
-----	------------	-----	------------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>△町民体育館については、利用を制限した時期があったため、団体利用者（R3：2,165 人→R4：1,911 人）個人利用者（R3：2,613 人→R4：2,383 人）ともに減少傾向にある。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、適宜修繕等を施しながら町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p> <p>○町民プールについては、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しながら開設することができた。利用者数は、横ばいで推移している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。 ・予約による利用の受付は、半面での貸し出しとしているが、利用者のニーズを収集し、貸し出し方法等の見直しを検討していく。
--

令和5年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（令和4年度分）」

令和5年8月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375
